

**製品名: P2Y13 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe03134**

研究使用のみ

**概要**

|        |  |
|--------|--|
| 説明     | 組換えウサギモノクローナル抗体  |
| 宿主     | うさぎ  |
| 応用     | WB   |
| 反応性    | 人間   |
| 標識     | 非共役  |
| 修飾     | 未修正  |
| アイソタイプ | IgG  |
| クローン性  | モノクローナル  |
| 形態     | 液体   |
| 濃度     | 0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。                                   |
| 保存     | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。                     |
| 輸送     | 氷袋   |
| バッファー  | 50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質 |
| 精製     | アフィニティー精製  |

**応用**

|      |  |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:1000                            |
| 分子量  | Calculated MW: 41 kDa; Observed MW: 41 kDa |

**抗原情報**

|              |   |
|--------------|---|
| 遺伝子名         | P2RY13                                    |
| 別名           | GPCR1; GPR86; GPR94; P2Y13; SP174; FKSG77 |
| 遺伝子 ID       | 53829                                     |
| SwissProt ID | Q9BPV8                                    |
| 免疫原          | ヒト P2Y13 の合成ペプチド                          |

**背景**

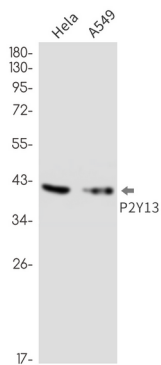
この遺伝子産物は G タンパク質共役受容体ファミリーに属する。このファミリーには、様々なアデノシンおよびウリジンヌクレオチド

ドに対する薬理学的選択性が異なる複数の受容体サブタイプが存在し、場合によっては重複する。この受容体は ADP によって活性化される。[RefSeq 提供、2008 年 9 月]

## 研究分野

神経科学

## 画像データ



P2Y13 抗体を使用した HeLa、A549 溶解物中の P2Y13 のウエスタン プロット分析。